

## 「核兵器禁止条約」は世界56か国・地域の批准で発効している 政府は「核兵器禁止条約」締結国会議にオブザーバー参加せよ！

「核兵器禁止条約」は核兵器を禁止する国際条約で2017年7月に国連総会で採択され、2021年1月22日に発効した。核兵器保有国、米国の核の傘の下にある国や軍事同盟を結ぶ諸国は参加していない。アジアではシンガポールを除く東南アジア諸国連合は参加している。来春に第一回締結国会議が開かれる。

日本政府は、「核保有国と非核保有国との橋渡しを務める」としながら、米国との軍事同盟国として参加していない。野党政策合意では、締結会議へのオブザーバー参加が明記され、日本維新の会もオブザーバー参加は基本方針としている。公明党もオブザーバー参加方針を示している。広島出身の岸田総理は参加を決定すべきである。

広島市の松井市長は10月8日に総理官邸で岸田総理と面会し、岸田総理が掲げる「核兵器のない世界」の実現に向け、核兵器禁止条約の締結国会議にオブザー

### 中電・上関原発のボーリング調査を阻止！



ボーリング調査を阻止

中国電力が瀬戸内海の入口の上関町に原発を建設しようとする計画に反対する対岸の「祝島」の住民と漁民は、漁船を出してボーリング調査に反対した。中電は6月末にも阻止され

ており、調査の認可期間が終了し、今回で中断するとした。

中国電力は瀬戸内海に面する山口県上関町に2基の建設が計画。東日本大震災以降は工事が中断していたが、2016年から工事着手に向けて準備作業が進められている。対岸の祝島の住民を中心とした反対運動が全国の運動と協力しながら困難な闘いを続けている。

バーとして参加するよう求めた。松井市長は会見後に記者団に対し、「『被爆国としての対応をしっかりとお願いします』と伝えた。やっていただけののではないかと述べた。

**是非とも、総選挙では、被爆国として「核兵器禁止条約」の締結を行うことを要求して闘ってこよう。**

### 報告 10/6 関電マネー不正還流裁判 「関電旧経営陣」の不正を徹底追及する！

金品を受領していた八木など4人と闇補填に関与した森、八嶋を被告とし、原告が関電と株主という会社訴訟の第1回口頭弁論が開かれた。被告らは、金品受領について、森山氏との関係悪化などを危惧して「預かって保管していたに過ぎない」、報酬補填も業務の実態がある正当な対価だと答弁書で主張した。関電代理人は口頭陳述はせず、原告株主が「社会的な常識からかけ離れた思考回路で会社の経営方針が決められてきたことが問題」と意見陳述を行った。

同日には、関電役員に対する特別背任等の刑事訴追を大阪地検が行うべきであることを申し入れた。合わせて起訴を求めるNET署名の前回以降分も提出した。



報告会での弁護団

## 主張 原発推進の岸田新政権を総選挙で退陣へ！

自民党総裁選での岸田文雄氏の勝利は、経団連等の経済界の要求する原発を中心とするエネルギー政策推進派の勝利でもあった。福島事故以降の「表向きの原発に慎重な対応」を覆し、安倍元首相は原発推進派の甘利氏を岸田政権に送り込み「事実上の甘利内閣」とさせた。

経団連の夏季フォーラム(9/30)では電力業界だけでなく、日立製作所や日本製鉄から、原子力の活用を位置づけ、原発の再稼働や新增設を求める意見が噴出した。

今なお国民の7割以上が脱原発を求めている(日本世論調査会 2021/2)のとはまったく反対の動きである。

### 原発推進派で固められた岸田新政権

岸田氏は、原発の技術は絶対が必要として、再稼働と研究の推進を主張し、核燃料サイクルについては維持することを主張してきた。岸田内閣の閣僚では、安倍元首相の側近の萩生田経産相、「甘利氏の一番弟子」といわれる山際経済再生担当相などの推進派が要職を占めた。

内閣の実務を担当する8人の首相秘書官の中では嶋田秘書官は安倍人脈で甘利氏の推薦である。嶋田氏は「原発再稼働」に力を注ぎ、今後は福島汚染水の海洋投棄の実施、原発再稼働の拡大、原発建替え・新設などを

進める方向である。

党の体制では幹事長となった甘利氏は「原子カムラのドン」として有名である。また高市氏が政調会長に就任した。高市氏は総裁選では、この10月に閣議決定される予定の「エネ基本計画」の見直しと小型新型原子炉、核融合炉の開発を加速することを主張してきた。



### 4野党の政策協定に「原発のない脱炭素社会」

立憲民主、共産、社民、れいわ新選組は9月8日に衆院選に向けた政策協定を結んだ。協定には、消費税減税や憲法「改悪」反対、安全保障法制の「違憲部分の廃止」などととも、「原発のない脱炭素社会の追求」が盛り込まれた。今後は各選挙区で野党統一候補がめざされる。憲法改悪反対、原発ゼロを主張する議員を一人でも多く国会に送り込もう。

「脱原発・放射能汚染を考える北摂の会」で検索いただくとバック No の閲覧とダウンロードが出来ます

**美浜3号機で非常用発電機異常で停止**(毎日 10/6)

運転中の美浜3号機で、定期試験のために非常用ディーゼル発電機を起動したところ、異常警報が発生し自動停止した。関電はもう1台は正常動作したとして原発は運転を継続させている。このトラブルは「運転上の制限の逸脱」であり、10日以内の復旧が必要である。美浜3号機は特定重大事故等対処施設が完成していないため23日に停止する予定となっている。

**広島県連1・5億円事件に不満爆発**(日刊ゲンダイ 10/8)

岸田首相の出身県で、岸田派の議員の対立候補となった河井案里氏に1.5億円の選挙資金が自民党から提供されていた件。広島選挙ではまずこの1.5億の不正問題が論議されるだけに、広島県連はその「再調査」を要求している。甘利官房長官は早々と「再調査する考えはない」と否定した。これを岸田首相はどうするのか？

**伊方原発3号機配管バルブ閉まらず**(TV愛媛 10/8)

再稼働が保安規定違反で延期されている伊方原発3号機。8日には原子炉格納容器内にある配管の定期検査でバルブが閉まらなくなり、放射性物質を含むホウ酸水が約10㍓放出した。四電は、バルブを分解して原因を調査する予定。どんな検査をしてきたのかが疑われる。

**核兵器禁止条約を総選挙の争点に**(朝日 10/8)

朝日新聞「私の視点」にICANの川崎哲さんが「衆院選を前に一核廃絶の道筋と野党は政策論争を」を寄稿。広島出身の岸田首相は「核兵器のない世界」に尽力すると言いますが、核兵器禁止条約に対する態度は明らかにしていない。来る衆議院総選挙において、核兵器禁止条約に日本が加わることを求めることが重要である。各党は核兵器禁止条約への対応を議論すべきだ。

**在日外国人差別の真実と歴史を描く映画制作のためのクラウド・ファンディング達成!**

本紙251号で呼びかけた上記の「映画制作のためのクラウド・ファンディング」が目標額を達成した。すでに企画・調査も進み、難民や技能実習生の協力もあり、映像や資料が集積されている。素晴らしい作品の完成が期待される。完成の暁にはぜひとも上映会も企画しよう!

**主張 「安倍の威を借る岸田新政権」は、安倍の森友・加計・サクラ疑惑、甘利の贈賄疑惑、河井1.5億円など腐敗まみれのスタート!**

岸田文雄氏は4日に首相に選出され、8日に国会で所信表明演説を行った。引き続き各党の代表質問を行い、14日には国会審議をすることなく解散しようとしている。19日に総選挙を告示し31日投開票の予定である。

新首相就任のご祝儀人気をねらい、国会審議でボロを出さないための「逃げ」のスケジュールである。所信表明演説では「国民との対話」を強調しながら、追及されることを恐れ議論を逃げる姿勢は、国民の不興をかい各新聞社の世論調査で軒並みに支持率が半数以下である。

**官房長官に安倍氏の指示で甘利氏を選挙**

何十年ぶりかの宏池会の首班と言われながら、「安倍の威を借る」といわれているのは甘利官房長官の存在である。甘利氏は2016年に口利き疑惑で起訴寸前となり、経済再生相を辞任。安倍氏の口利きである黒川東京高検検事長の工作で不起訴となり、政界に復帰したのである。

この幹事長がいる限り、数々の安倍疑惑や、広島河井の1億5千万資金問題などに手をつけることはできない。

**案内 語り合おう!大阪の教育の現状とこれから**

- ①「新自由主義教育の実験場と化した大阪市の義務教育の現状」(報告:市立小教員)
  - ②フリートーク「語り合おう!大阪の教育とこれから」
- 日時:10月31(日)14時~16時  
場所:大阪市立港区民センター(地下鉄・JR弁天町)  
主催:子どもに「教育の権利」を!大阪教育研究会

**案内 講演会『『ヒロポン』と『特攻』』**

相可文代さんが、91歳になられた梅田和子さんの学徒勤労動員などの戦争体験の話を聴き取り、覚醒剤、特攻、軍国主義教育、天皇と指導者の戦争責任を語る。

日時:11月20(土)18時半~  
場所:エルおおさか 708号室(ZOOM参加も可)  
「アジアから問われる日本の戦争」展イベント

**案内 12/5 老朽原発このまま廃炉!大集会おおさか**



再稼働した美浜3号機も、特重施設の完成が期限に間に合わず、本年10月下旬には停止となり、関電は「2023年末までに使用済核燃料の中間貯蔵地を決められなければ、老朽原発を停止する」としている。老朽原発停止を突破口に原発全廃に向かって大きく前進していこう!

**案内 教科書に忍び込む「忠君愛国」**

楠木正成・正行父子を主人公にしたNHK大河ドラマを誘致する運動が、大阪府37市町村、全国65市町村が加入し、北摂地域では島本町と茨木市が参加して行われている。後押ししているのが吉村大阪府知事と松井大阪市長である。楠木父子は天皇の「忠臣」と称えられ、軍国主義教育に利用された。今回、塚崎昌之さんの講演「楠木正成・正行忠臣物語を美化する危険性」が開催される。

日時:11月27日(土)14:00~16:30  
場所:茨木市福祉文化会館 302号室  
主催:教科書問題を考える北摂市民ネットワーク

**岸田内閣の新閣僚は「カネ」まみれ!醜聞次々**

岸田内閣を作ったのが、安倍、甘利、麻生の3Aであるとしたら、彼らが選んだ閣僚たちも、「カネ」まみれで不正まみれである。この政権が安倍政権の「モリ・カケ・サクラ」などの不正や疑惑を追及したり、政権の信用を回復させることに期待することはできない。

\*\*\*\*\* 新聞等で報道されている疑惑の一部 \*\*\*\*\*

金子恭之	総務	地元ダム建設会社から迂回献金
茂木敏允	外務	「衆院手帳」無料配布/公選法
鈴木俊一	財務	公共事業受注企業から献金 他
後藤茂之	厚労	問題投資顧問企業から献金
金子原二郎	農水	自衛隊にパソコン売り込み/献金
萩生田光一	経産	迂回献金疑惑
牧島かれん	デジタル	NTTから2度の高額接待
西銘恒三郎	復興	辺野古関連工事会社から献金
二之湯智	公安	公設秘書が1億円強盗
末松信介	文科	巨額寄付金を記載せず